

講義名	メディア心理学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	土井 清孝		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	54041

主題と概要

メディア心理学では、各種メディアが人の心理にどのように影響を及ぼし、また人の心理が、どのようにメディアに反映されているかを説明する。メディアには様々なものがあるが、本講義では、近年急速に発達した多様な通信媒体を中心に解説していく。特にインターネットやテレビ、映画などのメディアを、その変遷を社会的、歴史的にたどりながら、映像や音楽、現代ドラマ、CM、アニメなど、コンテンツが豊富な題材を用いる。感動的な日米の映画、ニュース、音楽の歌詞のセリフ表現も、メディア心理学習と分析、エッセイ作成の題材として多用する。日本と海外のメディア社会心理や文化的発想の違いなども随時扱う。随時やさしい英語の題材や映像、名言、深い歌詞やセリフの意味についても、考えてみる。

到達目標

マスコミュニケーションに関わる情報行動について理解できる。メディアの発展による人間関係や人間心理の変遷について、理解できるようになる。各種メディアの媒体による時代の社会心理の反映や変遷について理解できるようになる。また特に、現代映画、テレビ、時代の人の心に訴えかける映像や音楽等のメディアを通じて、社会心理や人生観、自己理解を深める。

提出課題

毎回使用するプリント教材の主題、映像、音楽の歌詞などの中から、現在のメディア心理と関連する短いレポート・作文の作成と提出を求める。

評価の基準

授業への出席点や受講態度（50%）、毎回の授業中の小レポートなど（50%）

履修にあたっての注意・助言他

授業中に意見を求めることがあるので、積極的に授業に参加すること。

教科書

.使用しない(毎回題材となるプリントを配布する)。

プリント資料及び参考文献

授業で学習する題材や資料、説明のプリントをその都度配布、また様々なスクリーンや音響機器を使用しながら、各種視聴覚教材を用いる。(できれば、毎回配布するプリントを保管・整理するためのA4クリア・ホルダーを一枚用意してください)

授業計画

1. イントロダクション
2. テレビと番組構成の心理学、言語と文化の表現について
3. ニュースに表れたメディア心理と、メディアの伝達の意味、人の心への影響を考える
4. インターネット、テレビアニメなどのメディアの影響と人間の発達について
5. 文化と歴史の変遷、映画、ポップ音楽を媒介として。メディア心理と人生観
6. 日米のメディア、CM、映画、文化、音楽と人生観、社会心理、人間関係の問題等(1)
7. 日米のメディア、CM、映画、文化、音楽と人生観、社会心理、人間関係の問題等(2)
8. 日米のメディア、CM、映画、文化、音楽と人生観、社会心理、人間関係の問題等(3)
9. 日米のメディア、CM、映画、文化、音楽と人生観、社会心理、人間関係の問題等(4)
10. ビジネスと人間関係(映画、ポップ音楽の歌詞や旋律を媒介として)
11. 仕事と人間関係(映画、ポップ音楽の歌詞や旋律を媒介として)
12. 家族・社会・人間関係(1)映画、音楽の歌詞や旋律を媒介として
13. 家族・社会・人間関係(2)映画、音楽の歌詞や旋律を媒介として
14. メディアに見る季節の表現と心理について
15. 社会、生活、政治と人間関係。映画、音楽の歌詞や旋律を媒介として
16. まとめと復習課題

予習・復習

予習として授業で提示された課題を考えてくること。復習として、配布された資料・プリントを見直すこと。特に興味を持ったトピックについては、関連書籍を読み、理解を深めていただきたいと思います。

備考

学習内容のフィードバックや学生との意見交換の過程で、上記シラバスに追加する題材を適時入れていくことがあります。